

## 第47号

発行：令和元年12月  
会員数：198名（11月末現在）  
（家族会員=18名、個人会員=180名）  
発行責任者：飯田 秀  
編集責任者：出口 孝次

松浦武四郎記念館友の会

# 友の会だより

友の会事務局：  
松阪市小野江町383  
松浦武四郎記念館内



「友の会」のHPは、松阪市の中にあります。

<http://www.city.matsusaka.mie.jp/site/takesiro/tomonokai.html>

（松阪市で検索してね）

## 離職のご挨拶と御礼

中野 恭 前館長

まず、過日、襲来いたしました台風19号により甚大な被害を被られました皆様方に、謹んでお見舞い申し上げます。

次に、私こと、平成31年3月31日を以て、松浦武四郎記念館〔小野江コミュニティーセンター〕を離職させていただきました。7年間の長きにわたり、松浦武四郎記念館友の会様には、大所高所より温かいご指導・ご鞭撻を賜りましたこと、誠にありがたく、心より厚く御礼申し上げます。

とりわけ、飯田会長様はじめ役員の皆様方には、博物館をお支えいただくのみにとどまらず、「三雲が輩出した郷土の偉人」松浦武四郎翁の顕彰に精力的なご尽力をいただき本当にありがとうございました。衷心より重ねて御礼申し上げます。皆様方のおかげをもちまして、「開館20周年関連記念事業」「生誕200年関連記念事業」「命名150年関連記念事業」等を無事、実施すると共に様々な取り組みを推進することができ、まさに「男子の本懐」たる思いでございました。

また、飯田会長様より度重なる推奨を頂戴し、離職後は「会員」に加えていただきました。これからも皆様方と共に武四郎翁の顕彰活動に励んで参る所存でございます。今後とも何とぞ宜しくお願い申し上げます。

末筆になりましたが松浦武四郎記念館友の会様の益々のご発展と飯田会長様はじめ役員・会員の皆様方のご清福を心よりお祈り申し上げます。加えて、「離職及び御礼のご挨拶」を申し述べる機会を本稿の場を借りてお与えいただきましたことに、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



大台ヶ原にて

### 他団体との交流会

#### 「松阪歴史文化舎」と交流

毎年、他団体との交流会を平成22年から実施しています。昨年は、松浦武四郎生誕200年記念事業もあり、飯田会長が友の会代表として忙しかった事から、二年ぶりに他団体との交流会を実施することができました。

9月9日（月）の10時から11時50分まで、松阪市市民活動センター会議室にて、「松阪歴史文化舎」との交流会を実施しました。

今回の司会進行は、友の会会長が担当し、松阪歴史文化舎からは、門理事長を含め4人の方が、友の会からは、役



交流会で挨拶される門理事長

員・会員を含め14人が参加しました。

初めに、出席者が自己紹介をし、各代表が挨拶、友の会顧問でもある多賀館長からも挨拶を頂きました。その後、会長が友の会活動をまとめた配布物を基にくわしく説明しました。松阪歴史文化舎からは、交流会の事前打ち合わせを担当していただいた松本副理事長が、スライドを活用して写真などで概要説明をされました。松阪歴史文化舎の設立は、市民・行政と連携して、市内に散在する歴史文化遺産の顕彰を図り、これからの公的資産を有効活用し、次代に継承する市民文化を創造することを目的に設立されたということです。

この後、時間いっぱいまで意見交換などをして、活発にお互いの活動について質問をするなど有意義な時間となりました。最後に、今後の活動に生かしていきたいと田中副会長が挨拶して締めくくりました。

## 友の会の歩みと活動写真展

### 誕生地母屋にて

松浦武四郎誕生地オープン以来初めて、友の会の歩みと友の会設立10周年記念事業を含めた今までの活動内容を、11月1日から1ヶ月間、誕生地母屋に於いて展示しました。

友の会の歩みについては、新聞記事と写真で展示しました。今回の展示は、設立以来初めての取り組みであり、武四郎を顕彰する団体としては、この場所で皆様に観て頂くことは喜ばしいことでした。

中日新聞にもその内容を掲載していただき、多くの方々に関心をもって頂く為にも良かったと思います。

おもな展示内容は、松浦武四郎生誕200周年記念事業での大杉谷武四郎大看板除幕式、大台ヶ原ハイキングで武四郎設置の石碑を探索。友の会主催、長岡天満宮へ神鏡を訪ねる旅、友の会10周年記念事業東京で武四郎墓参りと足跡を訪ねる旅、友の会主催武四郎講座、蝦夷山桜、他。



### 友の会の歩み展示

- H19/5 新聞にて次年度、友の会が発足するという記事が
- 20/5 友の会が発足し最初の館外活動《大台ヶ原散策》北海道から、記念館へ蝦夷山桜を10本いただく
- 21/6 友の会が誕生地の清掃を実施
  - /8 友の会会長が研究発表《来心和尚と真覚寺》
  - /11 アイヌ料理教室を友の会役員が講師になり実施
- 22/5 蝦夷山桜を仮植樹した山から記念館裏などへ移植
- 23/9 初めて他団体との交流会《斎宮歴史博物館友の会》
- 24/5 曾根天満宮（兵庫県高砂市）へ神鏡を訪ねる旅
  - \* 神戸新聞に取り上げられる
- 26/4 2回目に届いた蝦夷山桜が11本育ち、1本が満開となる
  - /7 武四郎歌碑を本州では初めて記念館敷地内に建立
  - /10 市内の小学校にて、武四郎紙芝居、質疑応答
- 27/4 武四郎が愛した桜が中日新聞に写真入りで紹介される
  - /11 友の会会長が地元小学校にて出前講師（5年間）
- 28/9 大杉谷へダム湖遊覧、武四郎の足跡を訪ねる
- 29/10 大杉谷へ武四郎の足跡を訪ねる旅
- 30/4 大杉谷で松浦武四郎紹介大看板設置《会長が総司会》
  - /11 全国の樹木医が来館、蝦夷山桜の育成指導
- 31/3 中日新聞の全国版で「この人」に会長を掲載



写真と新聞記事で

# 大杉谷バスツアーに参加して

会員 駒田 健吾

令和元年11月17日(日曜日)、参加者27名(会員20名、一般7名)で大杉谷を訪れました。松浦武四郎が晩年訪れた地です。この時期には、めずらしく暖かい日で紅葉が実に美しく山々を染めていました。

大杉谷へ到着した時には、大杉谷区長の村田さんご夫妻も駆けつけて頂き、現在ダム湖に沈んでいる口定宮、中定宮、武四郎が一泊した「浅井家」があった場所であることの説明を受けました。雄大な景色に参加者から実に気持ちがいいなあと声が上がっていました。

みんなで弁当を食べた後は、ダム湖に沈んだ医王寺をしのび建立した観音堂のお話を聞き、明治19年に武四郎が立ち寄った大杉神社へ参拝し、樹齢1300年とも言われる大杉を拝観した後、定神社にも参拝して、武四郎の大杉谷における足跡を確認することができました。

武四郎が晩年に、大台ヶ原を探索し、登山道を整備した功績は偉大であり、そのおり大杉谷を訪れたことについては関心があります。武四郎ゆかりの地として、これからも大杉谷とのつながりを大事にしていきたいと思えます。

今回の「武四郎の足跡を訪ね、ダム湖遊覧ツアー」を開催して頂きました飯田会長、現地においてご強力を頂きました村田区長ご夫妻に感謝申し上げます。

追伸；入会して3年。足が不自由で杖がないと歩きにくい私を足場が良くないところで脇を支えてくださったり肩をかして助けてくださり、ありがとうございました。おかげで、楽しい1日を過ごすことができました。これからも体の許す限り行事に参加させていただきたいと思えます。皆様、よろしくお願い致します。



公園に建立された観音堂

## 全国大学駅伝 北海道代表を横断幕で応援！！

11月3日(日)に開催された第51回全日本大学駅伝選手権大会で、友の会として応援しました。というのは、毎年行われている会員交流懇談会に於いて、アイデアや意見を頂き、その実現に向けて役員会にはかり取り組んでいます。昨年度、大学駅伝で北海道代表が必ず一校出場するので、横断幕などで応援してはどうかというご意見をいただいたというわけです。

横断幕の大きさは、縦90センチメートル、横2.2メートルで、二枚作成しました。それを国道23号線小野江交差点付近の沿道ぞい2ヶ所に分かれてかけ、役員8名にて応援しました。

事前に、地元の新聞である夕刊三重から取材を受け、武四郎記念館前で横断幕のお披露目をした写真を掲載して頂き、多くの方に我々の活動を知って頂くことができました。

通過時には、会員も数人駆け付け、拍手と声援で北海道代表の札幌学院大の選手を応援しました。武四郎さんと北海道は深い繋がりがあり、応援したことに大きな意義があったと思っております。

昨年は、武四郎生誕200年北海道命名150年の節目の年でしたが、その盛り上がりをもっとすすめて、今後もさらに活動を充実させ、会員の方々に親しまれる活動をしていきたいと思っております。



がんばれ北海道代表

# 【記念館よりお知らせ】

※下記は予定ですので、変更になる場合があります。

## ☆記念館講座のご案内

- 1月12日(日)10:00～テーマ：東奥沿海日誌を読む 講師：山本 命（松浦武四郎記念館主任学芸員）  
2月 9日(日)10:00～テーマ：開館25年記念特別展記念講演会① 講師：齋藤 玲子（国立民族学博物館准教授）  
3月 8日(日)10:00～テーマ：開館25年記念特別展記念講演会② 講師：佐々木 利和（北海道大学特任教授）  
4月12日(日)10:00～テーマ：未定 講師：未定

## ☆展示のご案内

- ◆武四郎の古物収集 11月6日(水)～令和2年1月26日(日)  
武四郎の集めた古物や当時の好古家たちに影響を与えた武四郎の姿を紹介します。（現在公開中）
- ◆開館25年記念特別展 蝦夷漫画の世界 令和2年1月28日(火)～3月15日(日)  
アイヌ民族のミニ辞典「蝦夷漫画」を取り上げ、蝦夷漫画に登場する様々な者たちをリアルな実物資料とあわせて紹介します。
- ◆武四郎をめぐる文人たち 3月17日(火)～5月17日(日)  
幕末から明治にかけて活躍した著名な文人たちと交流し、詩歌、書画の世界に通じ、文人としても活躍した武四郎の姿を、交流のあった文人の作品とともに紹介します。

# 【友の会よりのお知らせ】

## 武四郎まつりボランティア募集

2020年2月23日(日)に行われる「武四郎まつり」では、友の会としてブースなどを出します。会員の皆様の中で協力をして頂ける方は、ぜひ事前にお声がけくださいませ。

## 会員交流懇談会参加のお礼

12月に行いました懇談会に参加頂きました皆様、ありがとうございました。  
頂きましたご意見につきましては、次号にて掲載致します。

## いつきのみや梅まつりに

### 参加してね

毎年、交流のある斎宮歴史博物館の広場において行われる「梅まつり」ですが、会員の皆様にはなかなか参加して頂く機会が少ないことと思います。短時間でもお手伝いいただき、お祭りを楽しんでいただけたらと思います。よろしくお願いします。

## 友の会だよりの発行について!

発行回数は年4回でしたが、3ヶ月に1回を4ヶ月に1回に変更し、年3回にさせていただきますので、  
次回の発行は、4月の予定です。

